

学校名 [ 岡田小学校 ]

氏名 [ 教育指導課 田原 和裕 主任指導主事 ]

[ 小 ] 学校 [ 4・5・6 ] 年版 単元名 [地震のメカニズムを知ろう] P20～21

教科・領域名 [理科] [ 時間 45分 ]

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

【ねらい】

- ・東北地方太平洋沖地震と兵庫県南部地震のメカニズムの違いを知り、どちらも恐ろしいことを知る。
- ・仙台にも活断層があることを知り、それに対して備えが必要であることを知る。

- 1 仙台と神戸の場所を地図で確かめる。
- 2 範読を聞く。

P21 ①地震の多い国「日本」

P21 ②地震が起きるわけ

【児童に伝えたこと】

平成23年に起きた東北地方太平洋沖地震、東日本大震災は、プレート境界型の地震で、長い揺れがあり、最大震度7、マグニチュード9.0だった。

(震度については省略)

- 3 マグニチュードの意味を知る。

【児童に伝えたこと】

マグニチュードとは、地震の規模(エネルギーの大きさ)を表す単位のこと。マグニチュードが1増えると、エネルギーが約32倍になる。マグニチュードが2増えると、エネルギーは約1000倍になる。

- 4 神戸の地震と宮城内陸地震の様子を資料から知る。

【児童に伝えたこと】

◆神戸の地震

平成7年兵庫県南部地震／阪神・淡路大震災／揺れたのは十数秒／最大震度7／マグニチュード7.3／**内陸断層型地震**／建物の下敷きになって、火事で多くの方が亡くなった。

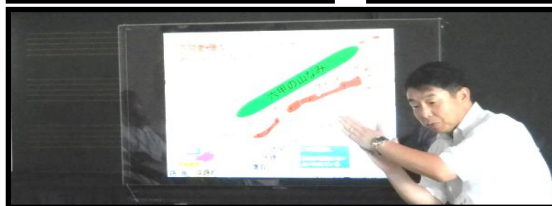
◆宮城内陸地震

平成20年6月／死亡・不明23名／栗駒山周辺の山がくずれた／長町・利府断層等が動く**内陸断層型地震**に備えることも大切

- ・家の中のものが落ちたり倒れたりしないように。
- ・物が落ちてきたり、倒れてきたりするところに寝ない。

【準備物】・パワーポイント・パソコン

・大型テレビ・副読本・日本地図



【児童の感想から】

ぼくたちが体験した東日本大震災は、プレートとプレートの間で起きた地震だそうです。でも、阪神淡路大震災は、断層がずれて起きたそうです。断層で起きる地震は、あまり知らなかったし、急に大きな揺れがおそってくるので、(こわいなあ)と思いました。震災当時の写真と今の神戸の写真を見せてもらいました。震災当時は、港の大型クレーンが倒れていたり、市役所の5階がつぶれていたり、ビルが倒れていたり、とてもひどい被害でした。でも今は、震災が起きたとは思えないくらい建物が建っていました。また、夜は港まで明るくて、にぎやかな町でした。今回、この授業を受けて、神戸はとてきれいで明るい町に復興したことが分かったので、(宮城も神戸ぐらい復興してほしいなあ)と思いました。